

生活支援コーディネーター発行

地域の支え合い通信



2018年

6月

第3号

麻生・太平百合が原・拓北・あいの里・篠路 地区版

篠路チョボラ会

生活支援ボランティア講座を開催しました！

昨年度2月に開催した篠路地区生活支援推進連絡会に出席していただき、地域で行う身近な支え合い活動の重要性を感じてくださった「篠路チョボラ会」からご依頼があり、生活支援ボランティア講座を開催しました。

「篠路チョボラ会」は100名を超える会員がおり、高齢者が地域社会への参加意識と生きがいを実感しながら、お互いに絆を強めていくことを目的に花壇の手入れやゴミ拾い、交流会を開催されています。その中で、「生活支援ボランティア活動に興味がある」と言っていた方向けに講座を開催しています。



参加された方は介護職の経験がある方や、自分が外に出るきっかけにしたいとの思いを持った意欲的な方たちでした。今後、どのように活動されていくか、参加者の皆様に考えていく予定です。

サロン訪問をしています！

生活支援コーディネーターの役割として「社会資源の把握」「生活支援ニーズの把握」があります。その一環として担当地区のサロンへお伺いさせていただき、活動内容の把握と合わせて、日々の困りごとや、「あったらいいな」と思う資源の聞き取りをさせていただいています。元気にサロン活動されている皆様からはあまり困りごとは聞かれず、「外に出て人と会って、楽しむこと」が生きがいに繋がっていることを感じています。



おしゃべり広場



わくわくゆめ・ふまねっとどリーむ



ともサロンあさぶ



パーク♡サロン

“地域間交流の場”に伺ってきました！

麻生地区和光町内会有志で実施しているサロン「ありしあの会」にて、同じ地区内のインペリアル麻生町内会山川会長が、レクリエーションとしてピザトースト作りを行いました。

山川会長は日頃よりグループホームでお菓子作りのボランティアを行っており、その活動を知ったありしあの会ボランティアさんがぜひ、ありしあの会でも一緒に活動をしてほしいとお話があり、今回実現にいたりました。

参加者さんもパンに好きな具材を載せて自分好みのピザトーストを楽しく作っていました！

地域活動者が自分ができることを他の町内会など別な場で活かし、活動が活発になる素敵な機会を見学させていただきました！



インペリアル麻生町内会
山川会長

“地域のつどいの場” 確認訪問させて いただいています！

「ふれあい・いきいきサロン」や「介護予防のつどい」、身近な生活支援ボランティア活動を行う際の「活動場所」など、地域福祉活動を進める『地域のつどいの場』として、施設内で使用可能な場所の情報収集のため、福祉施設や医療機関、学校、斎場、銭湯、スーパーなどにアンケート用紙を送付させていただきました。麻生地区、太平百合が原地区、拓北・あいの里地区、篠路地区4地区合わせて、24カ所「使用可能」とのご回答をいただくことができ、使用可能な場所を提供してくださる施設へ開放していただける場所の確認を行うため訪問をさせていただいています。



訪問の際には、場所を確認させていただくだけでなく、現在の周辺地域とのつながりや、今後地域で行っていききたいことなどいろいろなお話を伺っています。

今回伺ったお話は、貴重な地域資源のひとつと把握し、今後の活動に活かしていけるよう取り組んできたいと思います。

今後も「地域のつどいの場使用可能場所」の情報を把握していきたく思っておりますので、ぜひ、ご協力いただける施設・機関がありましたら、北区社会福祉協議会までご連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします！

「生活支援コーディネーター」は、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していく地域における生活支援等の体制整備に向けた調整役です！

今後も地域で行われている活動に参加させていただきたく思っております！老人クラブやサロン、単位町内会など地域の集まりがありましたら、お気軽にご連絡ください！

【お問い合わせ先】



札幌市北区社会福祉協議会

札幌市北区北24条西6丁目北区役所 1階

☎ 757-2482

担当) 生活支援コーディネーター 佐藤